

社会科(2年生) 学習案内

〈中学校での社会科の目標(学習指導要領より)〉

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

第2学年 社会 学習計画

期	月	学習内容	期	月	学習内容	期	月	学習内容
1 学 期	4	〈歴史〉 ・近世の日本 〈江戸幕府の成立と対外政策〉 〈産業の発達と幕府政治の動き〉	2 学 期	8	〈地理〉 ・日本のさまざまな地域 〈日本の諸地域〉 ○九州地方 ○中国・四国地方 ○近畿地方 ○中部地方 ○関東地方 ○東北地方 ○北海道地方	3 学 期	1	〈歴史〉 ・開国と近代日本の歩み 〈欧米における近代化の進展〉 〈欧米の進出と日本の開国〉 〈明治維新〉
	5			9			2	
	6			10			3	
	7	〈地理〉 ・日本のさまざまな地域 〈地域調査の手法〉 〈日本の地域的特色〉		11				
				12				

評価の観点

この3つの観点を
評価していきます

主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

授業で学ぶ社会的な課題について、主体的に追及、解決しようとしているか。また、解決するための努力をしようとしているか。



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

日本の国土及び世界の諸地域の特色と日本の歴史と世界の歴史の関係について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を読み取ることができているか。

思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

社会的な事象から課題を見出し、様々な面から考察し、公正に思考・判断したりそれらを基に議論したりすることができるか。

★評価の方法

社会科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

定期テストや授業中の課題等を通して、知識や資料の読み取り方の習得、その知識や技能を用いる場面を設定し、習熟度を測ったりします。

○思考力・判断力・表現力等

定期テスト、プレゼン、グループでの話し合い、発表などを通し、思考力や判断力、表現力を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

授業の振り返り、定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。

